

団地交流懇談会のご紹介

団地交流懇談会は、団地のまちづくり活動の交流に加えて団地の今とこれからの状況を調べて学び、住み続けられる住宅地のあり方を考えようと、2018年に始めた可児市の住民有志による任意組織。

定例会議(年間約10回)で住民活動の交流、学び、課題や将来のあり方などの意見交換、情報交換の他、調査活動、見学会、講演会などを行っています。

会費の他、可児市まちづくり活動助成、都市住宅学会中部支部の財政的支援を得て活動しています。



定例会議

団地交流懇談会のご紹介

＜会の活動＞ 下記と定例運営会議

2019年

見学会(高蔵寺NTぶらぶらまつり,岐阜市芥見東団地)

講演会・セミナー:住み続けられる団地に向けて一広島と可児の
まちづくり交流会

2020年

移動支援活動調査一可児市・美濃加茂市・東浦町の職員参加
地域公共交通の学習

2021年

リモートワーカー調査

団地空き地・空き家調査

見学会(各務原市八木山団地)

講演会「令和の住宅団地—郊外生活の現在と行く末」(大阪大学青木先生)

大学研究室の調査協力(新規入居者調査・若葉台、コミュニティ
施設と活動調査)

2022年

見学会(高蔵寺NT)

調査協力(桂ヶ丘ポケットパーク利用実態)

2023年

市役所との意見交換

市内27団地自治会調査